



埼玉県高P連だより

第93号

令和8年2月2日
埼玉高P連
調査広報委員会

2,000名を超えるPTA会員のご参加をいただきありがとうございました



第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会が開催されました

～埼玉大会を振り返って～

埼玉大会実行委員長 沼澤 早苗

埼玉大会にはたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

今大会のテーマは「対話」でした。年に一度関東7県のPTAが集まる大会は、まさに「対話」のビッグチャンスであり、PTAの意義を再確認し、PTAが皆さまにとってどんな存在なのか再認識できたのではないかと思います。

私自身、埼玉大会運営にあたり、皆さまお一人お一人の存在がありがたく、心強く感じました。皆さまのお陰で大会ができていることを実感し、PTA役員になってよかったと心から思えるかけがえのない経験となりました。

皆さまにおかれましても、交流が生まれた方々との「対話」を大切にして、ますます生き生き楽しいPTA活動にしていれば幸いです。そして、皆さまの楽しそうに活動している姿を見た方が、PTAに入りたい、役員になりたいと思ってくださることも願っています。



県連会長挨拶

令和7年度県連会長 澤田 貢

この度、埼玉県高等学校PTA連合会会長を拝命した、川越女子高校の澤田 貢です。よろしくお願いたします。

日頃より、PTA連合会活動へのご理解と温かいご支援に心より感謝申し上げます。皆様の熱意あるご協力により、連合会活動は支えられています。

この夏さいたま市で開催された関東大会では、多くの学校からの応援をいただき、盛況のうちに終えることができました。心より御礼申し上げます。

連合会では、時代の変化に対応し、皆様が活動しやすいよう各行事の見直しを進めています。また、連合会は、各校PTAの皆様が横の繋がりを広げ、互いに学び支え合える貴重な組織です。各校の経験や知恵を分かち合うことで、PTA活動がより有意義で楽しいものになるよう、役員一同、皆様にとって有益な存在となるよう努めてまいります。

今後とも、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



令和7年度 定期総会・研究協議会報告

埼玉県高等学校PTA連合会事務局

令和7年6月9日、埼玉会館小ホールで「令和7年度定期総会・研究協議会」を開催しました。本年7月11、12日開催の「第71回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会」関連の説明・審議も予定されたため、研究協議会は紙上発表となりました。

当日は、来賓として3名の方にご出席をいただく中、延べ264名の方が総会に参加しました。

令和6年度事業報告及び各会計の決算報告、令和7年度の事業計画及び予算、旅費規程の改正並びに助成金交付不要要綱の制定についての審議においては活発な議論をいただく中、慎重審議を経て、すべて承認されました。

最後に、令和7年度県高等学校PTA連合会会長より、これまでPTA活動にご尽力いただきましたPTAの方への表彰状、感謝状の贈呈（代表受領）が行われ、総会を終了いたしました。



全国大会報告

令和7年度県連副会長 臼井 繁樹

8月21、22日、第74回全国高等学校PTA連合会三重大会に参加しました。

1日目は分科会。アトラクションの四日市商業高校ギターマンドリン部は、創部70年の歴史を持つ伝統ある部活動で、生徒達の演奏は素晴らしく感動しました。チャリティーコンサートを開催しており、収益をユニセフに寄付するなど社会貢献も行う姿勢は、勉強になりました。分科会は、第4分科会の『Let's PTA』これからのPTA活動を考える！に参加しました。PTA会長の経験のあるレモンさんに講演をしていただき、難しい時代を迎えているPTA活動にこれからどう取り組むか、ヒントを見つける良い機会でした。

2日目は全体会。アトラクションとして相可高校食物調理科の活動動画が披露されました。卒業と同時に調理師免許が取得できる学科で、文部科学省から【スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業】の指定を受け地域との交流も盛んです。年末のおせち料理作りには生徒たちが一丸となって制作して完成した時の達成感が伝わって来ました。井村屋株式会社の中島伸子さんの記念講演では、中島さんの波瀾万丈な人生経験のお話を聞きました。女性が仕事をすることも難しい時代で経営者となった中島さんの経営理念は為になりました。特に、失敗と成功の経験からの人生論は、我々の今後の生き方に参考になるものでした。埼玉県PTA連合会の皆さんと共にした内容の濃い2日間でした。



東部支部

県立八潮南高等学校 PTA会長
臼井 繁樹

東部支部では5月20日に久喜市三高サロンにおいて、第1回役員会及び総会を開催しました。

総会では、今年度の事業計画や予算等について審議、承認をいただきました。また、昨年度同様に「支部研修会」についての提案が幹事校よりあり、全体で協議した結果、関東高P連埼玉大会の運営に注力するため、今年度も開催しないことになりました。

総会後には、歓送迎会が行われ、多くの関係者に参加していただきました。支部の情報共有や交流を図ることができ、有意義な時間となりました。

11月11日に八潮南高校にて、第2回役員会を開催しました。業務の見直しを中心に、今後のPTA活動の在り方を根本から見つめなおす機会としたいと考えております。

西部支部

県立川越初雁高等学校 PTA会長
堀内 由紀子

1 令和7年度支部総会

5月21日にウエスタ川越にて開催。令和6年度事業・決算報告、令和7年度役員選出、令和7年度事業計画・予算案の承認、会務運営に対する意見、役員等研修会に対する要望を受け付けました。

2 令和7年度支部役員等研修会

10月14日にウエスタ川越にて開催。2部構成とし、第1部では三遊亭あら馬氏を講師にお招きして、PTA活動の魅力と今後の在り方について語っていただきました。第2部では理事校の会長さんたちに登壇していただき、「魅力あるPTA活動」をテーマにあら馬さんを交えてステージと客席のやり取りを主とするトークセッションを行いました。



支部活動紹介

南部支部

県立川口青陵高等学校 PTA会長
中林 千緒

11月1日、南部支部研修会として川口市のベルヴィ武蔵野を会場に、講師として一般社団法人日本デジタルウェルビーイング協会(JDWA)代表理事ネット・ゲーム依存予防回復支援サービスMIRA-i(ミライ)所長で、公認心理師、臨床心理士、社会福祉士の森山沙耶様をお招きしました。森山先生はネット・ゲーム依存のカウンセリングや予防啓発活動の第一人者でいらっしゃいます。

南部地区各校のPTA役員、管理職64名の参加があり、ネット・ゲーム依存の最新の知見と「依存」への対策について約2時間で講演いただきました。質疑応答の時間も設けていただき一層理解を深めることができました。



北部支部

県立熊谷農業高等学校 PTA会長
山口 よしみ

北部支部では10月11日、熊谷市立文化センター文化会館ホールにて、北部支部役員等研修会を開催しました。

今年度は、熊谷高校・進修館高校・熊谷西高校・鴻巣女子高校より研究発表があり、学校とPTAが協力する取組が、子どもたちに「大人が自分たちのために動いてくれている」という実感を与え、将来の社会参加や感謝の心につながることを伝える内容でした。

また、助産師・櫻井裕子様による講演「高校生の性のリアル～知っておきたい最新事情～」を実施し、活発な質疑応答があり、参加者にとって大変有意義な学びの機会となりました。

幹事校として、スムーズな進行・運営に努め、22校111名のご参加をいただき、充実した研修会となりました。

今後のPTA活動のさらなる発展を心より願っております。

専門委員会研修会報告

11月5日・10日に専門委員会研修会が開催されました。多数のご参加ありがとうございました。

11月5日AM 【生徒指導】

発表校	東部	県立久喜工業高等学校
	西部	県立狭山工業高等学校
	南部	県立浦和高等学校
	北部	県立熊谷西高等学校

11月5日PM 【家庭教育】

発表校	東部	県立草加東高等学校
	西部	県立川越高等学校
	南部	県立常盤高等学校
	北部	県立鴻巣女子高等学校

講演会【11月5日】

講師：クイーンフィールド株式会社
大野 亜紀氏

演題：『伝えるから届くへ』
～様々なシーンに活かせる、こころに届く
声と意識の育て方～

高校教育は「対話型の学び」へと進化し、社会でも「伝える力」が重視されています。本講演では、アナウンサーの大野亜紀様より経験を通じて、発声・発音の基礎から自分らしさの表現まで、心に届く伝え方をご講演いただきました。



11月10日AM 【進路指導】

発表校	東部	県立鷲宮高等学校
	西部	県立所沢高等学校
	南部	市立大宮北高等学校
	北部	県立進修館高等学校

11月10日PM 【高校教育とPTA】

発表校	東部	県立越谷南高等学校
	西部	県立坂戸高等学校
	南部	県立上尾高等学校
	北部	県立熊谷高等学校

講演会【11月10日】

講師：風景写真家
佐藤 尚氏

演題：写真で広がる視点、出会いで変わる自分

風景写真家・佐藤尚氏による、車中泊で全国を巡る旅の中で培った視点の変化を語るご講演でした。

「人の内面を撮る」「物語を撮る」などのテーマを通じて、日常の風景を作品に昇華させる視点や、写真を通じた自己変容についてご紹介いただきました。



定通専門委員会報告

県立所沢高等学校 定時制PTA会長 後藤 和美

本年度は、年2回の定通専門委員会会合を行いました。7月には総会と講演会を同時開催し、文部科学省の藤井健人氏から「不登校・定時制のその後に待ち受けるもの」と題してご講演いただきました。昨年度に好評だった秋の講演会を10月に開催し、(一社)kuriyaの海老原周子氏から「自分らしく生き抜く力」と題してお話いただきました。これらの講演会を通して、定時制PTAの不安や悩みを軽減し、今後の定時制教育を考える機会となりました。

近年、定時制高校は、多様な生徒を受け入れることで教育機会の平等を実現する重要な役割を担っています。増加する外国籍生徒、発達障害や不登校経験等を持つ生徒への支援など、それぞれの生徒に合わせた教育を提供しています。

これらの活動を通して、定通関係高校PTA会長はじめ役員の方々との交流できたことは大変貴重な経験となりました。委員会としても爽り多い一年でした。ありがとうございました。



文部科学省・藤井氏の講演会
(7月総会)



(一社)kuriya・海老原氏の
講演会 (10月)

単P紹介

県立春日部高等学校 PTA会長

山口 潤

春日部高校は、創立126年を迎えた男子校で、「質実剛健」、「文武両道」の校風のもと、生徒たちは部活も学校行事も勉強もあらゆることに全力で取り組み、楽しんでいる学校です。

私たちPTAは、諸会議を運営する「総務部」、PTAだよりを発行する「広報部」、大学見学会を行う「研修部」、講演会などを行う「教養文化部」、国際交流の支援を行う「国際交流部」、といった5つの専門部約150名のメンバーで取り組んでおります。保護者同士のつながりも深く、温かな雰囲気でも活動し、子ども達の成長を見守っています。



県立小川高等学校 PTA会長

小笠原 美樹

小川高校PTAは、保護者と教職員が協力し、生徒の健やかな成長と充実した学校生活を支える活動を行っています。

文化祭や体育祭の支援、進路講演会の運営、登校指導などを通じて、学校と家庭の架け橋としての役割を果たしています。

また、保護者同士の交流や地域との連携を深める場としても機能し、生徒たちが安心して学び、夢に向かって歩めるよう、今後も温かく見守り支えてまいります。



県立岩槻商業高等学校 PTA会長

澁谷 麻衣香

岩槻商業高校では、歴史と伝統のまち・岩槻の地に根差し、地域とともに歩む学校として様々な交流活動を実施しております。

その中でも、毎年多くの方にご来場いただく「岩商祭（文化祭）」は、生徒の学びと地域の魅力を融合する一大イベントとなっております。生徒たちによる模擬店やステージ発表はもちろんのこと、地域の方々と連携した「工芸体験コーナー」が近年は好評を博しております。

岩槻は人形のまちとしても知られ、伝統的なものづくりの文化が息づいており、岩商祭では、地域の職人の方々をお招きし、来場される方が実際に工芸制作を体験できる場を設けております。生徒たちも準備等に積極的にに関わり、地域の文化や技術を学びながらその魅力を自らの手で発信しております。

こうした取り組みを通じて、岩槻商業高校は地域社会との絆をより深め、生徒一人ひとりが地域の文化を大切にしながら、地域とともに歩む学校として発展して参ります。

県立児玉高等学校 PTA会長

兼子 和之

本校は、令和5年度に児玉高校と児玉白楊高校が統合し、普通科・農業系2・工業系2の5学科を持つ県内唯一の全日制高校として新たにスタートしました。

地域を愛する心と課題解決力を育む「こだま学」に力を入れ、PTAも校訓「なすことによって学ぶ」のもと、学校と協力して教育環境づくりに取り組んでいます。

現在、PTAは会長と副会長7名の本部役員を中心に、5支部・5委員会で構成され、親睦行事や広報誌の発行、登校指導など多彩な活動を展開しています。卒業後も後援会員として応援もでき、誰もが気軽に参加できるPTAを目指しています。



新 校 紹 介

魅力ある県立高校づくり第2期実施方針に基づき、令和8年4月に、新たに開校する6校を紹介します。

和光国際高等学校

令和8年4月、和光国際高校と和光高校が統合し、新たに「埼玉県立和光国際高等学校」が開校します。新校の教育理念は、「自主的精神に満ちた、心身ともに健康で、グローバル社会で活躍できる個性豊かな人間の育成」です。外国語教育や国際理解教育を重視し、教科横断的な学び等にも積極的に取り組みます。

校舎は現在の和光国際高校の施設を活用し、設置学科は普通科240名、国際科80名となります。国際科は、これまでの外国語科の流れを引き継ぎつつ、語学中心の学びに加え、国際社会への教養を深める授業や探究活動を充実させていきます。普通科においても、国際科の科目や第2外国語の履修が可能で、国際高校ならではの特色ある授業を展開します。

国際交流については、長期休業期間を活用した短期海外研修を実施します。複数の国での実施を予定しており、アメリカやオーストラリア、フィリピン等幅広く検討しています。さらに、留学生の受け入れや海外の高校等との連携も推進します。修学旅行についても海外での実施を予定しており、事前・事後の探究活動も含めて、国際感覚の醸成に努めます。

新校和光国際高校に、ぜひご期待ください。



岩槻高等学校

「埼玉県立岩槻高等学校」は、令和8年度より岩槻北陵高校との統合を経て、新たに生まれ変わり、普通科7クラスと国際教養科1クラスの並置校として開校します。新校では、生徒が能動的に課題を解決できる人材へと成長することを目指し、大学進学を中心とした進路指導を充実させます。1学年の英語コミュニケーションⅠにおいて、習熟度別少人数授業を導入します。また、ICTを活用した効果的な学習環境を整えることで、生徒一人ひとりの夢の実現を支えてまいります。その他、コミュニティ・スクール制度を導入し、保護者や地域と連携した学校運営を進めていきます。

国際教養科では、英語力の向上に加え、「シティ・プロモーション」や「国際問題探究」などの特色ある科目を通じて、英語・情報・社会・国語を横断的に学び、地域やグローバルな視点から課題解決能力を養います。また、普通科にも第2外国語の選択履修を導入し、国際交流の機会を広げることで、全生徒にグローバルな視点を育む教育を進めてまいります。さらに、教養の要素を一層充実させるため、華道・茶道に加え、和楽器や人形作りなど、地域の特色を生かした選択科目を設置し、伝統文化の学びを深めるとともに、生徒の学びの幅を広げる環境を整えています。

新校の開校に向け、教職員一同、全力で取り組んでまいります。今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

秩父高等学校

秩父高校は、令和8年4月から皆野高校と統合し、伝統を引き継ぎながら新たな「埼玉県立秩父高等学校」として生まれ変わります。新しい学校では「普通科」と「国際教養科」の二つの学科を設け、生徒一人ひとりの将来の夢や希望に応じた学びを実現します。

普通科には、難関大学を目指す「特別進学クラス」と、多様な進路に対応する「総合進学クラス」を設置し、興味や目標に合わせて科目を選択できる柔軟なカリキュラムを整えています。新設の国際教養科では、英語を中心とした学びを通して、世界と地域の両方を見つめる広い視野を養います。TGG研修、オンライン英会話、プレゼンテーション合宿など実践的なプログラムを通して、英語を学ぶだけでなく発信できる人材の育成を目指します。

秩父高校の大きな特色である「探究活動」では、「つなごう！ちちこう！」をテーマに、地域の方々とのつながりを大切にした学びを進めています。秩父市との連携を活かし、イベントへの出展など地域に根ざした活動が行われています。

伝統と新しい挑戦が共存する秩父高校は、「地域に根ざし、世界に開く学校」として、生徒一人ひとりの成長を支えていきます。



秩父高校
ホームページ



国際教養科
紹介動画



授業風景



越生翔桜高等学校

鳩山高校と越生高校が統合され「埼玉県立越生翔桜高等学校」が開校します。

越生翔桜高校の校名に、飛翔の「翔」が入っています。これは生徒一人一人の将来の活躍への願いを込めています。また、翔桜の「桜」は鳩山高校が桜の植林活動を行ってきたことから、その活動を校名に残し、鳩山高校の伝統を引き継いでいくという決意を込めています。

越生翔桜高校には普通科と美術表現科の2つの学科があります。

普通科は「生徒一人一人が自らの夢や希望を持ち主体的に学べる学科」です。進学・情報ビジネス・アートの3つの類型（コース）を設定しました。生徒一人一人が興味や進路希望に応じた授業を選択することで将来の夢や希望を実現できる学科となっています。

美術表現科は美術に関する専門科目に加え、新科目「アニメーション」を設置して、専門的にアニメーションを学ぶ学科になります。絵画や彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザイン、アニメーションといった表現方法を学び、3学年ではその中から1つを選択して専門的に学ぶことができます。美術表現科は多様な方法を学び、その中から興味ある表現方法を選び、しっかり学べる学科となっています。



絵画授業



CG室授業

八潮フロンティア高等学校

八潮高校と八潮南高校が再編整備により統合し、「埼玉県立八潮フロンティア高等学校」が令和8年4月に開校します。普通科とビジネス探究科の2つの学科が設置されます。

普通科は、基礎基本を習得することで、確かな学力を育成していきます。3年生の選択科目ではビジネス探究科併置の強みを生かし「ビジネス基礎」「観光ビジネス」等の商業科目の選択もでき、生徒の進路の幅を広げていきます。

ビジネス探究科は商業の専門学科です。1年生は商業科4分野の科目を総合的に学び、2・3年生は興味・関心に沿って科目を選択することで、生徒が希望する分野の専門性を深め、進学や就職に生かすことができます。

八潮フロンティア高校は、実践型ビジネス教育により「ビジネス分野で活躍できる人材の育成」を行う学校であり、その象徴として「高校生株式会社」を設立します。生徒たち自身で株式会社を設立し運営することで、アントレプレナーシップを醸成していきます。「高校生株式会社」は学校にとっても生徒にとっても、新たな挑戦です。挑戦する八潮フロンティア高校を、よろしくお願いいたします。



新制服

大宮科学技術高等学校

令和8年4月に大宮工業高校と浦和工業高校の統合により誕生する新校「埼玉県立大宮科学技術高等学校」は、新しい理工系専門高校です。

開校場所は現在の大宮工業高校の敷地で、通いやすさや学習環境の継続性も大切にしています。さらに新たに「情報サイエンス棟」が建設され、AIやプログラミング、データサイエンスなどを学ぶ最新設備が整う予定です。既存の実習棟についても大規模な改修が進められ、これまで以上に充実した学習環境が整備されます。

学科は機械工学、電気工学、ロボット工学、建築デザイン工学に加え、県内初となる情報サイエンス科を設置します。最先端の分野を基礎から体系的に学ぶことが特色です。また、学科を越えた「ミックスホームルーム」や探究活動では、異なる専門を持つ仲間と交流しながら協力し、柔軟な発想力や協働力を育てていきます。

普通科目の授業も充実しており、大学進学をはじめ幅広い進路に対応できる体制を整えています。

加えて、台湾の姉妹校との交流を通じて国際的な視野を広げる機会も用意されています。生徒一人一人が自分の将来を見据え、科学技術を学びながら成長していける、安心と期待に満ちた学校となります。



情報サイエンス棟



新制服

事務局より

★令和8年度担当支部

◎県連会長：南部支部

◎監査（東西：校長／南北：PTA会長）

★第72回関東地区高等学校PTA連合会大会
群馬大会

◎日程 令和8年7月3日（金）※1日開催

◎場所 Gメッセ群馬1F展示ホール

◎記念講演

(株) ホットランドホールディングス
代表取締役 佐瀬 守男 氏★第75回全国高等学校PTA連合会大会
2026大分大会

◎日程 令和8年8月20日（木）・21日（金）

◎場所 別府国際コンベンションセンター他

◎大会テーマ

♫湯ごころ 真ごころ 親ごころ
～輝く未来を 切り開け～

◎記念講演

元プロ野球選手・野球解説者・
野球評論家
内川 聖一 氏

演題「夢が導く諦めない気持ち」



【参考】

★関東地区大会 R9 茨城大会 R10 山梨大会
R11 神奈川大会

★全国大会 R9 東京大会 R10 北海道大会

令和8年度主な予定

<令和8年>

- ・4月上旬 生涯学習推進課実績報告書提出
- ・4月中旬 県高P連定期監査（高P連事務局）
- ・5月中旬 新旧合同理事会・委員会
- ・6月16日（火） 県高P連定期総会（埼玉会館小ホール）
- ・6月23日（火） 関東地区高P連総会（Gメッセ群馬）
- ・6月27日（土）・28日（日） 全国高P連定時総会（東京）
- ・7月3日（金） 第72回関東地区高等学校PTA連合会大会群馬大会（Gメッセ群馬）
- ・8月20日（木）・21日（金） 第75回全国高等学校PTA連合会大会2026大分大会（別府国際コンベンションセンター他）
- ・9月初旬 第2回理事会・委員会
- ・10月3日（土）・4日（日） 全国高P連会長事務局長連絡会（名古屋）
- ・10月中旬 関東地区高P連第1回役員会・委員会（茨城）
- ・11月13日（金）・17日（金） 専門委員会研修会（埼玉会館小ホール）※1日開催の可能性あり
- ・11月 県教育委員会へ意見交換書提出
- ・12月中旬 第3回調査広報委員会（高P連事務局）

<令和9年>

- ・2月1日（月） 埼玉県高P連だより第94号発行
- ・2月初旬 第3回理事会・委員会
- ・2月初旬 関東地区高P連第2回役員会・委員会（茨城）
- ・2月6日（土）・7日（日） 全国高P連会長事務局長研修会（東京）

ハイスクール24還元事業報告 ～ AED設置推進 生徒の命を守る一歩～

埼玉県高P連では、ハイスクール24事務手数料等の一部を原資に、加盟校PTAを支援しています。今年度も「AED設置推進事業」で10校に導入が実現しました。皆様のご協力が、生徒を守る環境づくりにつながっています。今後も還元事業を通じ、安全で安心な学校づくりのために、引き続き新生へのご案内をお願い申し上げます。

編集後記

調査広報委員長 小笠原 美樹

埼玉県高P連だよりをご覧いただき、ありがとうございました。保護者と学校が手を取り合い、生徒の未来を支える活動の一端をお届けできたことを嬉しく思います。今後も皆様のご理解とご協力を賜りながら、より良いPTA活動を目指してまいります。